

会議名称	【第1回】杉並区立西宮中学校改築及び併設1施設建設工事設計等業務受託者候補者選定委員会
日時	令和7年10月4日(土) 10:00~12:09
場所	杉並区役所 教育委員会室(東棟6階)
出席者	委員名 千葉大学大学院 工学研究院 教授：柳澤 要 東京学芸大学 こどもの学び困難支援センター 准教授：入江 優子 前橋工科大学工学部 准教授：堤 洋樹 杉並建築会 代表：林 美樹 杉並区教育委員会事務局 次長：井上 純良 杉並区教育委員会事務局 学校整備・支援担当部長：高山 靖 杉並区区民生活部長：寺井 茂樹
	事務局 杉並区教育委員会事務局 学校整備課長：安川 卓弘 杉並区区民生活部 地域施設担当課長：近藤 伸吾 杉並区教育委員会事務局 学校整備課教育施設計画推進担当係長：山田 育未
配布資料	1 次第 2 委嘱状 資料1 選定委員会 委員名簿 資料2 杉並区プロポーザル選定委員会条例/杉並区委託事業プロポーザル実施取扱要綱 資料3 選定委員会座席表 資料4 選定委員会審査日程表(案) 資料5 実施要領(案)(別紙基本計画等含む) 資料6 採点表(案)・選定基準 資料7 諮問書
会議次第	1) 第一回選定委員会の進め方 2) 実施要領について 3) 採点表案(選定基準)と配点について 4) 今後の日程について

会 議 記 録

会
議
の
結
果
及
び
主
要
な
発
言

(1) 第一回選定委員会の進め方

会長は柳澤委員となった。

会長が会長職務代理者に堤委員を指名し、委員の承認を得た。

事務局から、受託者候補者を12月末までに選定するため、第1回選定委員の中で各委員からの意見を聴取し、実施要領及び評価基準を確定するよう説明した。

(2) 実施要領について

事務局から、プロポーザル実施要領について説明を行った。

<質疑応答>

- ・ 実施要領(P5～6) 8. 受託者候補者の選定手順(2) 審査方法について委員より、「一次審査、二次審査それぞれで審査配点合計6割以上取得が必要なのか、応募事業者にも伝わりやすいよう、もっと分かりやすく明示する必要がある」と意見が出た。

⇒実施要領 修正点

委員の意見を踏まえ、実施要領の記載を修正することとした。

- ・ 基本方針ビジョン1～3に対する提案(様式8-1～3)の枚数について委員より、「ビジョン1～3で書類が最大6枚出てくるというのは、プロポーザルにしては分量がかなり多い。また、書類を3枚出してきたところと6枚出してきたところでは、重みが違うような気がして、提案者によって差ができてしまうのは気がかり。」と意見が出た。

⇒実施要領 修正点

委員の意見を踏まえて、各ビジョンで提出可能枚数が2枚以内だったのを1枚以内と変更した。それに伴い様式8-1～3の※3つ目の文言を「A3用紙横長片面2枚以内とする。」から「A3用紙横長片面1枚以内とする。」へ変更した。

(3) 採点表案(選定基準)と配点について

事務局から、プロポーザル評価基準について説明を行った。

<質疑応答>

- ・ 総合評価について

委員より、「公表しない採点表の、技術提案等に対する評価基準の評価項目に「総合評価」としての加点があるが、どの項目について評価するのか分かりにくい。総合評価の必要性も含め、評価項目を整理したほうがよい。」と意見が出た。

⇒実施要領 修正点

委員の意見を踏まえ、実施要領の記載を修正することとした。

(4) 今後の日程について

- ・ 今後のスケジュールについて説明をした。未確定の部分については適宜調整連絡することで、委員の了承を得た。

- ・ 次回開催について

11月13日(木) 午後1時30分～

場所：杉並区役所西棟6階 第5会議室

会議名称	【第2回】杉並区立西宮中学校改築及び併設1施設建設工事設計等業務受託者候補者選定委員会
日時	令和7年11月13日(木)午後1時30分～午後2時55分
場所	杉並区役所 第5会議室(西棟6階)
出席者	千葉大学大学院 工学研究院 教授：柳澤 要 東京学芸大学 こどもの学び困難支援センター 准教授：入江 優子 前橋工科大学工学部 准教授：堤 洋樹 杉並建築会 代表：林 美樹 杉並区教育委員会事務局 次長：井上 純良 杉並区教育委員会事務局 学校整備・支援担当部長：高山 靖 杉並区区民生活部長：寺井 茂樹
	事務局 杉並区教育委員会事務局 学校整備課長：安川 卓弘 杉並区教育委員会事務局 学校整備課教育施設計画推進担当係長：山田 育未 杉並区区民生活部 地域課コミュニティふらっと整備担当係長：植田 優希
配布資料	<事前送付資料> 応募者参加申込書等(様式1～5)(副本)一式 第一次審査(書類審査)採点表(案) <当日配付資料> 資料1 ①第一次審査(書類審査)事前採点表個人用/最終採点個人用 ②第一次審査(書類審査)事前採点表集約版 資料2 第一次審査結果通知(案) 資料3 第二次審査レイアウト図(案) 資料4 第一次審査(書類審査)最終採点表集約版(結果)
会議次第	1 議題 (1) 第一次審査について (2) 第一次審査通過事業者の決定について (3) 第二次審査について 2 その他

会 議 記 録

会
議
の
結
果
及
び
主
要
な
発
言

1 議題

(1) 第一次審査について

参加申込は6事業者あった。各委員による事前採点表（個人用）と、その事前採点表集約版を用い、どのような考えで事前採点をしたかを話し合った。その後、各々事前採点表を見直し、最終採点（個人用）を提出していただいた。その結果をもとに、以降の会議を進めた。

(2) 第一次審査通過事業者の決定について

最終採点表集約版（結果）を見ながら、委員の見解を確認したところ、「技術提案書などより詳細な提案内容をきちんと確認するため、一次で6割以上の事業者は全て通過でよいのでは」、「一次の得点で若干差がついているため、二次は事業者をある程度絞り、時間をかけてじっくり審議したい」などの意見が出た。それらの意見を踏まえ、一次審査の得点が6割以上の5事業者を通過させることに決定した。

(3) 第二次審査について

事業者に送付する審査結果通知裏面記載の注意事項の内容について確認を行った

- 当初の案では、1者当たりのプレゼンテーションを15分としていたが、事前に提案書は確認していること、限られた時間でいかに伝えられるかも評価に含まれることから、10分とすることとした。
- 「『ヒアリング（質問）に対する回答は1分以内』と注意事項に記載があるが、回答の長さは質問内容による。また、簡潔に答えられる回答者の能力も採点基準になるのではないか。」との意見を踏まえ、「ヒアリング（質問）に対する対象者の回答は、簡潔に行うものとする。」という記載に修正することとした。
- 当日の進行の流れや会場レイアウトについて説明し、了承を得た。

2 その他

- 次回開催について

12月20日（土）午後0時30分～

場所：杉並区役所東棟6階 教育委員会室

会議名称	【第3回】杉並区立西宮中学校改築及び併設1施設建設工事設計等業務受託者候補者選定委員会
日時	令和7年12月20日(土)午後0時30分～午後5時00分
場所	杉並区役所 教育委員会室(東棟6階)
出席者	<p>委員名</p> <p>千葉大学大学院 工学研究院 教授：柳澤 要 東京学芸大学 こどもの学び困難支援センター 准教授：入江 優子 前橋工科大学工学部 准教授：堤 洋樹 杉並建築会 代表：林 美樹 杉並区教育委員会事務局 次長：井上 純良 杉並区教育委員会事務局 学校整備・支援担当部長：高山 靖 杉並区区民生活部長：寺井 茂樹</p>
	<p>事務局</p> <p>杉並区教育委員会事務局 学校整備課長：安川 卓弘 杉並区区民生活部 地域施設担当課長：近藤 伸吾 杉並区教育委員会事務局 学校整備課教育施設計画推進担当係長：山田 育未 杉並区区民生活部 地域課コミュニティふらっと整備担当係長：植田 優希</p>
配布資料	<p><<事前送付資料>> 応募者技術提案等資料(様式6～8及び見積書)(副本)一式</p> <p><<当日配布資料>> 資料1 第一次審査(書類審査)採点表結果 資料2 第二次審査採点表</p> <p><<議決後配布資料>> 資料3 第二次審査採点結果</p>
会議次第	<p>1 審査の進め方</p> <p>2 議題 (1) 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング審査) (2) 受託者候補者の選定</p>

会 議 記 録

会
議
の
結
果
及
び
主
要
な
発
言

開会、審査の進め方

会長の開会宣言の後、事務局より、プレゼンテーション及びヒアリングの進め方及び採点表等について説明を行い、委員からの質疑の後、議題に進む。

議題

(1) 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング審査）の実施

第二次審査に進んだ応募者5者より10分間のプレゼンテーションが行われた後、25分間のヒアリングを行った。ヒアリングの際に各応募者に対し行われた質疑の要点は次のとおり。

(事業者1)

・ 今回提案いただいた案から変更や、配置や間取りについて複数案提示をお願いすることがあるが対応が可能か。

⇒配置計画については柔軟に対応することが可能。

・ 工事期間中の教育環境の確保についてはどのように考えたか。

⇒なるべく早期に事業を終わらせることで、子どもたちへの影響を少なくするほか、工事期間中の音の問題については、今まで培ってきた経験をいかし工夫していきたい。

・ 諸室の配置で工夫をしたところはあるか。

⇒将来的に児童・生徒数が減少、普通教室が減った場合、コミュニティふらっとの機能を学校側に拡張していくようなことができないかと考え、その点も考慮した案とした。

・ 学校支援本部とPTAの部屋からコミュニティふらっとへ行くには一度外へ出ないといけないが、このような動線にした意図はなにか。

⇒学校支援本部やPTAの方は夜間や休日の活動がメインだと考えたため、学校開放エリアに置きながら、休日には1階の中で行き来ができる設計にした。

・ 普通教室が全て西向きになっているため、西日対策について確認したい。

⇒改築懇談会でのプランを見ると、グラウンド向きの普通教室を選択されていると見受けられたため、今回はなるべく対策をした上で、西向き選択した。

(事業者2)

・ 中学校とコミュニティふらっとを複合的に整備する中で「学びのプラットフォーム」となることも含め、どのような認識で設計したか。

⇒学校と集舎施設が一体となって子どもたちや地域社会を育てていくことが必要と考えた。ただ、プライバシーの問題もあるので様々な形態に対応できるような形を考えた。

・ 学校とコミュニティふらっとのセキュリティラインについてどう考えているか。

⇒掲示が可能な壁、シャッター、扉などを組み合わせてセキュリティラインと、堅穴区画などを組み合わせた配置を考えている。

会議の結果及び主要な発言

• 2階が屋上庭園になって上がれるようになっていて、区民も入れるとなると、普通教室からつながっているの、落ち着かないことにならないだろうか。

⇒ご指摘のとおり、地域の方が上がっているときに授業をやっている最中で気になる場合、植栽などで視線を切る、近づける範囲を制限するなどの工夫をしていく必要がある。

• 個別対応が必要な生徒でも、様々な学び方に参加する、また、地域の方と交流する、という考え方もあると思うが、配置について、その辺はどう考えたか。

⇒個別対応については、まずは落ち着いたところに置いて、協議の中で位置については柔軟に対応していきたい。

(事業者3)

• 学校とコミュニティふらっととのセキュリティラインについて、誰がどう管理することをイメージしているか。

⇒昼間は学校側が、夜間はコミュニティふらっと側が管理することを想定した。また、電動式シャッターの開閉などで物理的ラインの確保を想定している。

• 不登校の子、様々な特性を持った子、個別に学習をしていく子などの視点からはどのような工夫をしたか。

⇒生徒の個別対応にも考慮した配置、かつインクルーシブな状態を作っていくために、それらのスペースを相互に行き来できるような環境を作っていきたい、配置の中でコミュニケーションが取れる、場合によっては隠れることもできるような場所を設定した。

• 3、4階の廊下をラーニングコモンズにして学習スペースを設けるとなると、ここが通過動線になっている中で、安定した学習ができる環境なのか。

⇒機能よりは、その空間を共有することを重要と考えた。ラーニングコモンズの学習スペースを分散して配置し、学習と図書との関連づけを図れたらと考えている。

• 校舎が東向きだと、夏場の温熱環境をできるだけ防ぎ、日射を遮へいすることが必要であるが、その辺に対しての配慮はどのように考えるか。

⇒夏も冬も東向きの有効性は高く、午前中の太陽高度を考えるとバルコニーがあることで日射は切れていく。

(事業者4)

• 工事期間中の教育環境の確保については、どのように考えたか。

⇒生徒の日常生活の動線をしっかり確保するほか、仮設校舎をコンパクトにつくること。また、外で遊べる場所をできる限り用意することが大切と考えた。

• 教室配置とラーニングコモンの配置について具体的な考えをご説明いただきたい。

⇒向かいにマンションが建つため、当面生徒数が増加すると予想し、多目的室が全て普通教室で埋まるという想定で3・4階、同じラーニングコモンのスペースとして用意した。

• 外装でれんがを取り入れ、木質化された内装についての考えを聞きたい。

⇒外断熱を使った中の快適な空間をローコストでどうやったら作れるかに主眼を置いた。

会議の結果及び主要な発言

(事業者5)

- 中学校とコミュニティふらっとを複合的に整備する中で「学びのプラットフォーム」となることも含め、どのような認識で設計したか。
⇒老若男女、世代を超えいろんな方に自由に来ていただける環境づくりが大事で、誰でも入りやすいような空間をつくる必要があると考える。ただ前提として、必要なところにはセキュリティ区画を構成した。
- 日常的に中学校とコミュニティふらっとがコミュニケーションを図っていくため、どのような工夫をしたか。
⇒これまで閉鎖されていた学校を地域に対して開いていくこと、様々な方が訪れて世代間の交流が生まれ新しい使い方ができるような施設、異なる価値観が出会える場をつくっていきたいという思いで提案した。
- 工事期間中の教育環境の確保についてはどのように考えたか。
⇒工事エリアと学校運営エリアを完全に分けて、安全を確保した。また、近隣の方々に対する配慮も必要ため、なるべく工事期間を短縮することも重要と考えている。
- 北側の道路からの見えがかりがこの学校が地域から一番よく見える部分であるが、学校側は裏動線になってしまっているため、どう処理するつもりか考えを聞きたい。
⇒現時点では、塀やフェンスで囲ってしまっている状態である。しかし、囲い方に工夫があることは承知しており、歩いていて不快にならないような景観づくりに尽力したい。
- ラーニングセンターが切り離されているが、一体化できないのか。
⇒アカデミックストリートに面しているため、教室側のセキュリティをきちんと鍵などで管理できるのであれば、開放することはできる。

(2) 受託者候補者の選定

(選定)

各委員による採点、集計の結果、第二次審査及び配点総合計の6割以上を取得し、かつ最上位であった事業者5を本業務の受託者候補者として選定することとし、杉並区教育委員会へ答申するものとした。

(委員からの主な意見)

- 学校とコミュニティふらっとを一緒に使う際に、どちらが管理するか、どう管理するかをしっかりと今後検討し、設計に反映させてほしい。
- 懇談会で出た意見に寄り添うのも大事だが、加えて自社の案も提案してくれるところが望ましいのではと感じた。
- 開放という視点は必要ではあるが、現実的にはあまり開放的だと落ち着かない子どももいるため、小さいスペースがたくさんあったほうがよいこともある。また、先生方や地域の方の視点では、説明が分かりやすい事業者が良いと思う。
- 配置の検討に当たっては、地域住民への影響も重要な観点であると感じた。
- 学校とコミュニティふらっとの初めての複合的整備であったが、両方の施設をバランスよく考慮することの難しさを感じた。
- 中学校がメインなので、中学校として本当に快適で、機能的な学校になっているか、子どもたちが使う際にどれだけ魅力的になり得るかを評価した。